

【1回目登壇】

こんにちは。維新の会の辻信行でございます。

第18回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしくお願いいたします。

早速ですが、質問に入らせていただきます。

(ふるさと納税「あまがさき“未来へつなぐまちづくり”応援寄附金」について)

まずは、ふるさと納税「あまがさき“未来へつなぐまちづくり”応援寄附金」についてお伺いします。

本市ホームページには「法改正により、令和元年6月1日以降に尼崎市民の皆さんが尼崎市へ寄附申込みをした場合、記念品を提供できなくなりました。引き続き、尼崎市に寄附をしていただくことは可能で、税の控除もこれまで同様に受けることができます。」と記載されています。

その結果、毎年順調に伸びてきた市内居住者のご寄附が平成30年度は、531件、17,703,500円から令和元年度は、145件、4,632,316円に減少しました。

昨年度、市内居住者のご寄附が減少した事を踏まえて今年度は、ご寄附に記念品を提供出来ない替わりの対応を具体的にお考えでしょうか。

平成30年度決算では、現在13ある基金の内、8基金31事業について事業費を充当しています。しかし、一般財源と混在してしまい、事業費の中のどこにその基金を使ったのかわからない事業もあります。

記念品が提供されない市内居住者のご寄附については、その基金に関心を持ちご寄附されていることと思います。

このご寄附に対して基金用途を誰でもわかりやすく明白に確認出来る方法は、取れませんか。

例えば、具体的に利用した事業費をホームページに記載されてはいかがでしょうか。ご寄附された方は、その目的に合った使い方がチェック出来るかと考えますが、ご見解をお聞かせ下さい。

動物愛護基金から取崩額と充当額が同じである動物愛護推進強化事業費は、人件費を除く事業費が全て寄附金で運営されています。その事業費の中に「尼崎市多頭飼育動物不妊手術助成金」があります。これは、市内に住所があり多頭飼育の制限が困難なそれに起因して生活環境を悪化させる恐れが有りボランティアの支援を受け入れた者が助成対象となります。しかし、助成金の交付要綱内容や利用について市民やボランティアの方が問い合わせても全く公開されていません。

なぜ、全て寄附金が原資の事業費助成金が、交付要綱の内容や利用について市民に公開されないのでしょうか。公開すべきと考えますが、ご見解をお聞かせ下さい。

「あまがさき新型コロナウイルス感染症対策 みんなで応援寄附金」について、大阪府のホームページに「新型コロナウイルス助け合い基金」では、ご寄附くださった方に「氏名公表に同意いただきました場合、ご芳名をホームページ上で掲載させていただきます。10万円以上の寄附者には、大阪府知事の感謝状を贈呈させていただきます。」と記載され、また、随時速報値として寄附申込状況（件数、金額）が掲載されています。

本市でも一定金額以上にご寄附くださった方に感謝状の送付や希望者のご芳名ホームページ掲載、寄附申込状況がわかる制度を取り入れては、いかがでしょうか。

寄附金については、寄附者がその寄附の目的に合った基金の活用と公開を行なっていただく事を要望致します。

（給食センター、園田地域の複合施設の工事の進捗について）

次に、現在進んでいる中学校給食センターと園田地域の複合施設の工事については、新型コロナウイルスの影響が懸念されます。

現時点において、それぞれの事業スケジュールの進捗はどのようになっているのでしょうか。

（中学校給食での地産地消の取組について）

次に、中学校給食への市内産食材の活用についてお伺いします。

3月の総括質疑においてお聞きしましたが、前向きに、具体的に進めるといった答弁はいただけませんでした。先日、農協の方と中学校給食への市内産食材の活用について話をしたところ、すぐにでも考えられる食材として、市内産のお米があるとのことをご提案をいただきました。

第1回目の給食への使用も含めて、ぜひ市内産のお米の活用について、検討してもらいたいと思いますが、いかがですか。

（農業者の野焼きに対する市の見解について）

次に、農業者の野焼きに対する市の見解についてお伺いします。

昨年9月にお伺いしたところ、

「農業者が農業を続けていく上での問題点として「わらや草を燃やしにくい」ことがあると認識しており、廃棄物処理に関するサポートについては、農業者から具体的な相談があれば必要性等について検討していく」。

といった答弁をいただきました。

答弁を受け、先日、市に相談をした農業者の方から話を聞いたところ、「現時点において、尼崎市では廃棄物処理について三田市のようにサポートをすることは考えていない」との説明をされたとのことでした。議会での答弁とは食い違う対応に、農業者の方は大変戸惑い、不信感を抱いておられます。

「現時点において市がサポートをすることは考えていない」といった説明は、サポートの必要性等について検討された上でのことでしょうか。検討されたのであれば、その内容についてお聞かせください。

(オリンピック関連予算等の取り扱いについて)

次に、延期となったオリンピック・パラリンピック関連予算についてお伺いします。延期は大変残念ですが、来年、無事に開催されることを心から願っております。1年延期となったことを前向きにとらえ、来年の開催に向けては、改善するべきものは改善し、現状よりも良い取組を行ってほしいと思います。

関連予算についての取り扱いはどのように考えておられますか。

(広報のあり方について)

次に、市の広報についてお伺いします。新型コロナウイルスに関しては、各地域の消防団の方などの協力もあり、広報車が市内をていねいに巡回し、外出自粛の呼びかけは多くの市民の耳に届いておりました。一方で、それ以外の情報は市のホームページへの掲載のみで、多くの情報が市民の方に届きにくい状況にあります。

市民に必要な情報をタイムリーに届けるために、市報の臨時号や号外を、すぐに発行できるような仕組みを作るべきだと思いますが、考えをお聞かせください。

以上で、1回目の質問を終わります。

【2回目登壇】

答弁をいただき、ありがとうございます。

(武庫分区 雨水貯留管整備事業について)

それでは、武庫分区 雨水貯留管整備事業についてお伺いします。

今後、当局は、地元住民へ説明会の開催も行っていくと伺っています。

コロナ禍の中で発進立坑用地を定める市民の合意が得られたとする判断は、どのようになれば得られたとお考えでしょうか。

雨水貯留管整備事業については、当局が丁寧な説明を行う中でも、市民の皆さまも意見が言える安心安全な方法で事業を進めていただく事を要望致します。

(中学校給食での地産地消の取組について)

市内産のお米の給食への活用について、農協の方によれば、市内で収穫したお米はまとめて保管されてお

り、中学校給食センターは1か所であるため搬入もしやすく、第1回目の給食での提供はもちろん、食数にもよるが年間で10回程度提供できるかもしれない、とのことでした。

必要量を確保するためにも、ぜひ早期に関係者と協議を進めてもらいたいと思いますが、いかがですか。

(オリンピック関連予算等の取り扱いについて)

次に、オリンピック関係については、小学生を対象にした聖火リレーのサポートランナーの取組が、十分な周知もされないまま行われ、申込者が大変少ない状況にありました。特にこの件については、改善が必要だと思えます。考えをお聞かせください。

(給食センター、園田地域の複合施設の工事の進捗について)

中学校給食センター、園田地域の複合施設ともに、関係する市民が大変注目している市の目玉となる事業です。ぜひ予定どおり進めていただき、スケジュールに変更などが見込まれる場合には、すみやかに、そして確実に市民への情報提供を行っていただきますようお願いいたします。

(広報のあり方について)

最後に、市報の臨時号や号外をすぐに発行できるような仕組みは、今回のような状況だけではなく、日頃からタイムリーに市民へ情報を届ける手段として、ぜひ前向きに検討をしていただきたいと思います。

以上で、私の質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。